



今から六年前
その時その場所から
約百三十キロメートルの場所に
住んでいました

二階堂明弘 陶展

あめを

うける

うつわ

2017.3.2[木]-4.4[火]

10:30-19:30 (最終日17:00まで)

無休／入場無料

◎記念講演会

2017年3月2日[木] 18:30-19:30 (参加無料・要予約)

◎オープニング・レセプション

2017年3月2日[木] 19:30-20:30 (参加無料)

「あめをうけるうつわ」

今から六年前

その時その場所から

約百三十キロメートルの場所に住んでいました

もし風向きが悪ければ

今こうして益子の土を使うことは

出来なかったかもしれない

空から降る雨

天からの恵みが一変した世界

それでもそこにとどまり続け

何かを受け止め歩み出す人々

うつわがなにかを内包し

受け止める事

「あめをうけるうつわ」に

人々の強さと美しさをあらわしてみた



原発事故をきっかけに「あめをうけるうつわ」を発表し5年ほど

その時に感じ作品に込めた思いは

終わることのない問題、時間と共に深く複雑なものへと変化していると感じています

当初より「いつか広島で発表をしたい」という思いが

やっと実現します

二階堂 明弘 Akihiro Nikaido

1977年札幌市生まれ。文化学院芸術専門学校陶磁科卒。01年より栃木県にて陶芸家として独立。10年、若手陶芸家の大交流展「陶ISM」を企画し益子にて開催ー12年以降毎年開催。11年、震災により開催直前だった「陶ISM2011」を中止し、これを機に仮設住宅に陶芸家のうつわを直接届ける「陶ISMウツワノチカラ Project」を開始。13年、「次世代のEnergy」共同展出品（益子陶芸美術館メッセ・茨城県立陶芸美術館）。14年、現代陶芸展「現象」出品（茨城県立陶芸美術館）。15年、個展「侘びと今」をニューヨーク、Globus茶室で開催。同年、横浜赤レンガ倉庫にて若手陶芸家108名が参加し、来場者4000人を超える大イベントを主宰。16年、茶の湯を通し日本文化を表現する「侘びと今-輪-」を、ニューヨーク各所にて開催。年に10回を越える個展を中心に活動し、近年では海外にも活動の幅を広げ、ニューヨーク、パリ、台北、上海、北京で個展や作品展にも出品する。

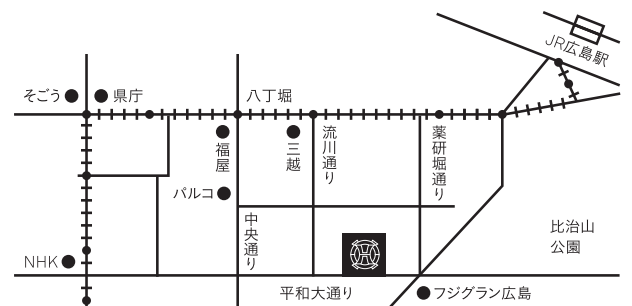


◎記念講演会のご案内

出演 二階堂 明弘 片桐 功敦(華道家)
日時 2017年3月2日(木) 18:30-19:30
場所 オリエンタルホテル広島3階「チャペル」
定員 80名(参加無料・要予約・先着順締切)
お申込 オリエンタルデザインギャラリー
tel.082-240-9463(直) 11:00-19:00

オリエンタルホテル広島
オリエンタルデザインギャラリー

730-0026 広島市中区田中町6-10 オリエンタルホテル広島内1F
TEL 082-240-9463(直) <http://www.oriental-hiroshima.com/>



JR広島駅南口より車で約5分/JR広島駅南口より市内電車で約15分。「胡町」で下車、徒歩約8分/広島空港より車で約60分/広島高速東雲I.C.より車で約7分/駐車場はございますが、料金はご負担願います。台数が限られておりますので出来る限り公共交通機関をご利用ください。